



定量評価							
指標 1		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
2歳児歯科健診受診者数	目標	人	3,297	4,520	4,270	4,270	4,270
	実績	人	3,853	3,980			
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	3,958	5,362	4,444		
単位当たり経費		千円/単位	1	1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		131.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2							
		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	件					
	実績	件					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	3,958	5,362	4,444		
単位当たり経費		千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率		%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価		
過年度の実施内容		
平成18年度 2歳児歯科健診 3,853人		
事前評価	必要性	(分析・理由)
	A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い 2歳児を対象に歯科保健に関する知識の普及や歯科健診、保健指導、フッ素塗布を行うことにより、歯や口腔の健康づくりが推進できるので必要である。
事前評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)
	B	A 高い B ↑ C ↓ D 低い 2歳児を対象とした歯科健診は母子保健法で定められている1歳6か月児健診、3歳児健診の間に行うもので、むし歯の予防等子どもの健康な育を図るため浜松市が実施するのが妥当である。ただし、法的な義務付けはされていない。
事後評価	有効性	(分析・理由)
	A	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない 17年の合併後の再編で、19年度から始めて市内全域において実施し、ほぼ予定どおり遂行されたため。
事後評価	効率性	(分析・理由)
	D	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない 18年度は、浜松市全体で実施しておらず、旧浜松市の実績のため19年度とは比較にならない。
今後の事業展開		
規模		
現状	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止	(分析・理由) 2歳児を対象に歯科保健に関する知識の普及や歯科健診、保健指導、フッ素塗布を行うことにより、歯や口腔の健康づくりが推進できるので必要である。
具体的な改善内容・事業の方向性等		
(問題意識) 母子保健法で各市町村に実施が義務付けされている1歳6か月児・3歳児歯科健診に対して、その間の年齢にあたる2歳児を対象に市の独自のサービスとして歯科健診を実施している。合併後の事業再編作業の中で、各旧市町村で様々な年齢が対象とされていた幼児の歯科健診・相談事業から、2歳児歯科健診1つだけを選択したが、市の事業として妥当性(事業そのもの、年齢の設定、受益者負担などの妥当性)を問う。  (想定結果) 市の実施が適当なもの		
(備考) 事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘		
なし		